

「自己表現力」と「実践力」を育成するための指導の研究

～かかわり合い，伝え合う活動をとおして～

I 研究仮説

教科，道徳の時間，学級活動，特別活動，総合的な学習とキャリア教育，NIEの活動，また日常のあらゆる場面において，相手となる人，事柄とのかかわり合いの中で，自己表現する機会や場を与えられ，コミュニケーション能力をのばすための具体的な手だてが講じられれば，生徒ひとりひとりの自己表現力と実践力を育てられるだろう。

II 研究内容

(1) 確かな学力と「表現力」「道徳的実践力」を育てるための研究

- ア 各教科において「表現力」を育てる手だてを実践研究する
- イ 表現力やコミュニケーションのスキルについての研修を進める
- ウ 自己表現力・道徳的実践力を育てる道徳，特別活動，総合的な学習の指導の在り方を実践研究する
- エ 少人数授業，習熟度別授業，TT授業を活用したきめ細かな指導について実践研究する

(2) 新学習指導要領移行期の教育課程の編成の研修

平成24年度完全実施される新学習指導要領の内容の研修を積み上げ，新教育課程を編成実施する

(3) 生き方を学ぶキャリア教育の実践的研究

昨年度まで積み上げてきたキャリア教育を継続し，1年次から3年次までを見とおした「生き方」の学習として充実させる

- ア 1年次・・・コミュニケーションの基礎力の育成
- イ 2年次・・・勤労観・職業観の育成（職場訪問，農業体験をとおしての実践研究）
- ウ 3年次・・・進路決定

(4) NIEを活用した実践

平成22年度・23年度指定のNIEを活用し，表現力の育成を目指す

III 具体的研究内容

(1) 生徒の実態調査

- 対象 : 全校生徒
- 実施日 : 7月，12月
- 目的 : 全国学習状況調査を元に本校の研究テーマに即した項目を設け生徒の実態を把握するため

(2) 講師を招いての研修

5月26日 講師 NIEアドバイザー中山友江先生
7月7日 講師 スクールカウンセラー石原香絵先生

(3) 研究授業の実施

7月14日 2年生英語 授業者 : 大村隆教諭
指導・助言: 県義務教育課 立川武指導主事
峡東教育事務所 小林俊彦指導主事
10月27日 2年生社会 授業者 : 石原一貴教諭
指導・助言: 山梨北中学校教頭 窪田新治先生
峡東教育事務所 小林俊彦指導主事
12月8日 1年生道徳 授業者 : 小林秀実教諭

IV 成果と課題

昨年度からの校内研究のテーマと今年度NIEの実践校に指定されたことを関連させて取り組んで来た。

目指す力をつけさせるために、まず生徒の実態を把握することを考え、全国学習状況調査の生徒の質問紙の中から本校の研究テーマに関連する項目を選び、さらにNIE実践に関連する項目を新たに設けて、7月に全校生徒を対象に調査を実施した。集計結果から特にどこに力を入れて指導すべきかが確認できた。12月に、2回目の調査を実施し、指導の成果を分析した。結果から、授業での工夫や普段の指導の成果が現れた項目も見られた。反面、さらに指導の見直しの必要な項目もあり、今後の指導の方向性が確認できて良かった。調査の時期の間隔がもう少し開いていれば、信憑性のある数値が得られたかもしれない。

年3回の研究授業では、テーマに沿った授業を提供してもらい、参観ではグループに分かれ、それぞれの観点を重点的に観察し、付箋紙を用いてワークショップ方式で研究会を実施した。グループ内で全員が意見を出し、話し合いを深め、全体で確認し共有することができた。指導主事から指導・助言をいただき、有意義な研究会となった。

NIEについては、基本的な事柄、取組についての研修会が講師を招いて実施できた。学校全体で取り組めること、各教科で取り組めることなど、具体的にお話をうかがうことができ、取組の糸口がつかめ、大変良かった。

また、スクールカウンセラーを講師に、フレンドシップ・サポート・プログラムというコミュニケーションスキルをワークショップ方式で学んだ。素直に自分を表現できたり、相手を受け入れられるようなスキルである。道徳や学活の授業で早速実践した学級担任もあり、有意義な研修であった。

V 成果物

- (1) 研究授業指導案(中1道徳, 中2英語, 中2社会)
- (2) 生徒の実態アンケート

(研究主任 長嶋明美)